

少額短期保険会社ならではの賃貸入居者総合保険

賃貸住宅の入居者に対し、火災・盗難や水漏れ事故などに対応する賃貸入居者総合保険などを提供している東京海上ミレア少額短期保険株式会社。従来の損害保険会社との違いや、その戦略について、取締役社長の関 栄男氏が語った。

火災や水濡れを保障 賃貸入居者総合保険

賃貸住宅の契約に際し、入居者が加入する「賃貸入居者総合保険」。賃貸契約の条項に盛り込まれているケースが多く、一般的には保険加入が契約の条件となっている。このタイプの保険商品を扱っているのは損害保険会社と少額短期保険会社に大別される。全国に約70社ある少額短期保険会社の中で、賃貸住宅保険を主力商品としているのが東京海上ミレア少額短期保険株式会社だ。

「当社の起源である株式会社日本厚生共済会が設立した当時は保険業法の適用を受けない『任意共済』として事業を展開していました。2006年に保険業法が改正され、翌07年に少額短期保険会社となり、09年に東京海上ホールディングス株式会社の100%子会社化、10年に現在の社名に変更しました」(関氏)

同社が扱っているのはマンション、アパート、一戸建てなどの賃貸住宅に住む入居者を対象にした「賃貸入居者総合保険」だ。失火やもらい火による火災、水濡れ、盗難などによる家財の保障や、借用戸室の修理費用、家主や他人への賠償

責任などを保障する。

構造や地域によらず 保険料率を一本化

東京海上グループには7社の国内保険事業会社がある。同社はこの中で唯一の少額短期保険会社だ。

「一般的に損害保険会社の賃貸住宅入居者向け火災保険は、建物の構造や地域などによって保険料率が異なります。当社の場合は、シンプルさを追求するために、木造や鉄筋コンクリートなど建物の構造や所在地によらない、一本化した保険料率としています」(関氏)

生保や損保の枠組みにとらわれず、ユニークな保険商品を扱っていた任意共済の流れをくむ、少額短期保険会社ならではのビジネスモデルだ。

「当社の代理店は全国約2250の不動産管理会社さんや仲介会社さんです。シンプルでわかりやすい商品なのでお客様への説明のしやすさが大きな特長です」(関氏)

入居者や家主、代理店のニーズにあった保険商品の提供と、東京海上のブランド力により、同社の事業は成長を続けている。

「当社は万が一の際の保障はもちろんのこと、無料の医療相談サービスや現場急行サービスを24時間・365日提供するなど、より安心して信頼いただける保険会社を目指しています」(関氏)

ライフスタイルの変化などにより、賃貸住宅を選ぶ傾向は高まっている。入居者の暮らしを支える保険会社として、同社への期待は大きい。



東京海上ミレア少額短期保険株式会社 取締役社長 関 栄男(せき・しげお)氏

Company information

東京海上ミレア少額短期保険株式会社

- [本社] 〒220-8135
横浜市西区みなとみらい2-2-1-1
横浜ランドマークタワー35F
- [電話] 045-225-0031
- [URL] <http://www.tmssi.co.jp>
- 設立: 2003年
- 代表者: 取締役社長 関 栄男
- 事業内容: 賃貸住宅の入居者に火災保険商品を提供する少額短期保険会社。



全ての選択には、
フィクションに勝るドラマがある。
<http://kenja.jp/>

全国放送



毎週日曜 / 18:00~18:55

兵庫・大阪



毎週月曜 / 10:00~10:55

全国放送



毎週日曜 / 12:00~12:55

企画 / 矢動丸プロジェクト